

取引説明書(LION FXのお客様用)対比表

<改訂理由>

当社における注文の種類を明確化し、注文の種類組み合わせ等による注文方法についてより詳細に記載するため、現行の取引説明書について全体の見直しを行い、以下のとおり、改訂を行うこといたしました。ご確認くださいませようお願いします。

平成 30 年 2 月 26 日
(青字部分は追加、青字部分は削除箇所)

現 行	変 更 後
18. 注文の種類および19. 条件指定全決済は全面改訂のため、 削除	<p>18. 注文の種類</p> <p>注文の種類は、以下の 4 種類となります。なお、レート等を指定する場合には、20. 指値・逆指値指定不可の範囲をご確認ください。また、注文の失効については、21. 注文の失効をご確認ください。</p> <p>(1) 成行注文</p> <p>レートや時間にかかわらず、約定を優先させたい場合に使用する注文です。通貨ペア、数量、売買の別、両建ありなしの別を指定して発注します。発注後、当社が注文を受付けた順に執行し、現在レートで約定します。約定レートは、相場環境や発注時点から注文が執行されるまでの時間差等により、発注時点の提示レートと比較して、有利なほうにも不利なほうにもスリッページする可能性があります。なお、流動性が低い場合や数量等によっては約定しないこともあります。詳細については、16. 約定レートをご確認ください。</p> <p>(2) 指値注文</p> <p>指定したレートで約定させたい場合に使用する注文です。新規注文の場合、レートまたは提示レートとのレート差、通貨ペア、数量、売買の別、両建ありなしの別、期限を指定して発注します。決済注文の場合、決済対象を選んで、レート、提示レートまたは決済対象の約定レートとのレート差、決済対象の約定レートから算出した予想損益のうちのいずれか 1 つ、数量、期限を指定して発注します。発注後、指定したレートが提示された時点で執行し、指定したレートで約定します。同一レートを指定した指値注文が複数ある場合、注文日時の早い順で約定処理を行います。約定レートは、指定したレートとなり、有利なほうにも不利なほうにもスリッページしません。ただし、月曜日の始値（取引開始時の提示レート）が指定したレートに達している場合、約定レートは始値となり、有利なほうにスリッページします。</p> <p>(3) ストリーミング注文</p> <p>ストリーミング注文は、指値注文のひとつで、提示レートで約</p>

定させたい場合に使用する注文です。なお、許容スリップ（発注時の提示レートを基準として許容できる一定の範囲）を指定することで、許容スリップの範囲内のレートを指定レートとすることもできます。

- ・提示レートで約定させたい場合

許容スリップを 0、通貨ペア、数量、両建ありなしの別を指定した上で、「売注文（**BID** レート）」または「買注文（**ASK** レート）」をクリックして、発注します。発注後、当社が注文を受付けた時点で執行し、発注レートで約定するため、スリッページすることはありません。

- ・許容スリップの範囲内のレートを約定させたい場合

許容スリップ（1以上）、通貨ペア、数量、両建ありなしの別を指定した上で、「売注文（**BID** レート）」または「買注文（**ASK** レート）」をクリックして、発注します。なお、許容スリップの最小単位は 1 となり、通貨ペアの最小変動単位となります。発注後、当社が注文を受付けた時点で執行し、発注レートまたは許容スリップの範囲内で約定します。相場環境や発注時点から注文が執行されるまでの時間差等により、約定レートは、発注時点の提示レートと比較して、許容スリップの範囲内で有利なほうにも不利なほうにもスリッページする可能性があります。

なお、ストリーミング注文は指値注文のひとつであるため、注文の執行等についても指値注文に準じており、使用機器のフリーズ等により、提示レートが更新されていない等の理由によって、発注時点における表示レートが最新レートではない場合、提示レートで発注したつもりであっても、提示レートと約定レートに差異が生じる可能性があります。

(4) 逆指値注文

指定したレート以上になったら成行注文で買いたい、または指定したレート以下になったら成行注文で売りたい場合に使用する注文です。新規注文の場合、レートまたは提示レートとのレート差、通貨ペア、数量、売買の別、両建ありなしの別、期限を指定して発注します。決済注文の場合、決済対象を選んで、レート、提示レートまたは決済対象の約定レートとのレート差、決済対象の約定レートから算出した予想損益のうちのいずれか 1 つ、数量、期限を指定して発注します。発注後、指定したレートが提示された時点で逆指値注文が成行注文として執行され、現在レートで約定します。同一レートを指定した逆指値注文が複数ある場合、注文日時の早い順で約定処理を行います。約定レートは、現在レートと比較して、有利なほうにも不利なほうにもスリッページする可能性があります。詳細については、16. 約定レートもご参照ください。

18. 注文の種類を組み合わせ、時間指定等による注文方法は、以下のとおりです。なお、レート等を指定する場合については、20. 指値・逆指値指定不可の範囲をご確認ください。注文の失効については、21. 注文の失効をご確認ください。

(1) トレール注文

トレール注文は、逆指値注文のひとつで、現在レートの動きに伴い、逆指値注文の指定レートがトレール幅に応じて変動する注文方法です。新規注文の場合、提示レートを基準としたトレール幅、通貨ペア、数量、売買の別、両建ありなしの別、期限を指定して発注します。決済注文の場合、決済対象を選んで、トレール幅、数量、期限を指定して発注します。売りの場合、発注後の高値から指定したトレール幅の数値分下がった時点で逆指値注文が執行され、現在レートで約定します。買いの場合、発注後の安値から指定したトレール幅の数値分上がった時点で逆指値注文が執行され、現在レートで約定します。注文の執行等の詳細については、18. 注文の種類 (4) 逆指値注文をご参照ください。

(2) 時間指定成行注文

指定した時間に成行注文を発注したい場合に使用する注文方法です。新規注文の場合、通貨ペア、数量、売買の別、両建ありなしの別、日付、時間を指定して発注します。決済注文の場合、決済対象を選んで、数量、日付、時間を指定して発注します。指定した時間に成行注文が執行され、現在レートで約定します。指定できる時間は、別表 2 の範囲外の時間帯となります。注文の執行等の詳細については、18. 注文の種類 (1) 成行注文をご参照ください。

(3) 時間指定指値注文

発注した指値注文が、指定した日時までに約定しなかった場合、指定した日時で自動的に成行注文となり、その時点で成行注文として、執行される注文方法です。新規注文の場合、レートまたは提示レートとのレート差、通貨ペア、数量、売買の別、両建ありなしの別、日付、時間を指定して発注します。決済注文の場合、決済対象を選んで、レート、提示レートまたは決済対象の約定レートとのレート差、決済対象の約定レートから算出した予想損益のうちのいずれか 1 つ、数量、日付、時間を指定して発注します。なお、指定できる時間は、別表 2 の範囲外の時間帯となります。注文の執行等の詳細については、18. 注文の種類 (1) 成行注文、(2) 指値注文をご参照ください。

(4) 時間指定逆指値注文

発注した逆指値注文が、指定した日時までに約定しなかった場合、指定した日時で自動的に成行注文となり、その時点で成行注文として、執行される注文方法です。新規注文の場合、レートま

たは提示レートとのレート差、通貨ペア、数量、売買の別、両建ありなしの別、日付、時間を指定して発注します。決済注文の場合、決済対象を選んで、レート、提示レートまたは決済対象の約定価格とのレート差、決済対象の約定レートから算出した予想損益のうちのいずれか1つ、数量、日付、時間を指定して発注します。なお、指定できる時間は、別表2の範囲外の時間帯となります。注文の執行等の詳細については、18. 注文の種類 (1) 成行注文、(4) 逆指値注文をご参照ください。

(5) BID 判定買逆指値注文

BID レートが指定レートに達した場合に買の逆指値注文を発注する注文方法です。新規注文の場合、BID レートまたは提示 BID レートからのレート差、通貨ペア、数量、売買の別、両建ありなしの別、期限を指定して発注します。決済注文の場合、決済対象を選んで、BID レート、提示 BID レートまたは決済対象の約定レートとのレート差、決済対象の約定レートと提示 BID レートから算出した予想損益のうちのいずれか1つ、数量、期限を指定して発注します。BID レートが指定した BID レートに達した時点で、買の逆指値注文が執行されます。なお、通常スプレッドの差により、BID レートより ASK レートの方が高いレートになります。そのため、BID レートが指定した BID レートに達した時点での買注文のレートとなる ASK レートは、指定した BID レートより不利なレートになりますので、ご注意ください。注文の執行等の詳細については、18. 注文の種類 (4) 逆指値注文をご参照ください。

(6) ASK 判定売逆指値注文

ASK レートが指定レートに達した場合に売の逆指値注文を発注する注文方法です。新規注文の場合、ASK レートまたは提示 ASK レートからのレート差、通貨ペア、数量、売買の別、両建ありなしの別、期限を指定して発注します。決済注文の場合、決済対象を選んで、ASK レート、提示 ASK レートまたは決済対象の約定レートとのレート差、決済対象の約定レートと提示 ASK レートから算出した予想損益のうちのいずれか1つ、数量、期限を指定して発注します。ASK レートが指定した ASK レートに達した時点で、売の逆指値注文が執行されます。なお、通常スプレッドの差により、ASK レートより BID レートの方が安いレートになります。そのため、ASK レートが指定した ASK レートに達した時点での売り注文のレートとなる BID レートは、指定した ASK レートより不利なレートになりますので、ご注意ください。注文の執行等の詳細については、18. 注文の種類 (4) 逆指値注文をご参照ください。

(7) トリガー注文

条件（提示レートが指定したレート（トリガー価格）に達した時点）を満たすまでは、発注した注文を待機中（無効）とし、条件を満たした時点で注文中（有効）に変更したい場合に使用する注文方法です。新規は、指値注文、逆指値注文から選ぶことができます。決済は、指値注文、逆指値注文、トレール注文から選ぶことができます。新規注文の場合、トリガー価格、レートまたは提示レートとのレート差、通貨ペア、数量、売買の別、両建ありなしの別、期限を指定して発注します。決済を指値注文または逆指値注文とした場合、決済対象を選んで、レート、提示レートまたは決済対象の約定レートとのレート差、決済対象の約定レートから算出した予想損益のうちのいずれか 1 つ、数量、期限を指定して発注します。決済をトレール注文とした場合、トリガー価格、トレール幅、数量、期限を指定して発注します。注文の執行等の詳細については、18. 注文の種類 (2) 指値注文、(4) 逆指値注文、上記 (1) トレール注文をご参照ください。

(8) IF-DONE（イフダン）注文

新規注文とそれに対する決済注文を同時に出したい場合に使用する注文方法です。新規 (IF) は、成行注文、指値注文、逆指値注文、トレール注文、**BID** 判定買逆指値注文または **ASK** 判定売逆指値注文から選ぶことができます。決済 (DONE) は、指値注文、逆指値注文、トレール注文、**BID** 判定買逆指値注文または **ASK** 判定売逆指値注文、決済 pip 差注文から選ぶことができます。新規注文が約定した時点で、決済注文が有効となります。また、新規注文が失効した場合および新規注文を取り消した場合、決済注文 (DONE) は失効します。注文の執行等の詳細については、18. 注文の種類 (1) 成行注文、(2) 指値注文、(4) 逆指値注文、上記 (1) トレール注文、(5) **BID** 判定買逆指値注文、(6) **ASK** 判定売逆指値注文、(11) 決済 pip 差注文をご参照ください。

(9) OCO（オーシーオー）注文

2 つの異なる注文を同時に発注し、一方の注文が約定した時点で、他方の注文は自動的に失効させたい場合に使用する注文方法です。新規注文の場合、「買いの指値注文と売りの指値注文」、「買いの逆指値注文（トレール注文または **BID** 判定逆指値を含む）と売りの逆指値注文（トレール注文または **ASK** 判定逆指値を含む）」、「買いの指値注文と買いの逆指値注文（トレール注文または **BID** 判定逆指値を含む）」、「売りの指値注文と売りの逆指値注文（トレール注文または **ASK** 判定逆指値を含む）」の組み合わせから選ぶことができます。決済注文の場合、「買いの指値注文と買いの逆指値注文（トレール注文または **BID** 判定逆指値を含む）」「売りの指値注文と売りの逆指値注文（トレール注文または **ASK** 判定逆指値を含む）」から選ぶことができます。注文の執行等の詳細については、18. 注文の種類 (2) 指値注文、(4) 逆指値注文、上

記 (1) トレール注文、(5) BID 判定買逆指値注文 (6) ASK 判定売逆指値注文をご参照ください。

(10) IF-OCO (イフオーシーオー) 注文

IF-DONE 注文と OCO 注文を組み合わせた注文で、1 つの新規注文とそれに対応する 2 つの決済注文を出しておきたい場合に使用する注文方法です。新規 (IF) は、成行注文、指値注文、逆指値注文、トレール注文、BID 判定買逆指値注文または ASK 判定売逆指値注文から選ぶことができます。決済 (OCO) の一方は指値注文、他方は逆指値注文、トレール注文、BID 判定買逆指値注文または ASK 判定売逆指値注文、決済 pip 差注文から選ぶことができます。また、新規注文が失効した場合および新規注文を取り消した場合、決済注文 (OCO) は失効します。注文の執行等については、18. 注文の種類 (1) 成行注文、(2) 指値注文、(4) 逆指値注文、上記 (1) トレール注文、(5) BID 判定買逆指値注文、(6) ASK 判定売逆指値注文、(11) 決済 pip 差注文をご参照ください。

(11) 決済 pip 差注文

新規注文の約定レートを基準として指定した数値 (pip 差) 分離されたレートが決済の指値注文または逆指値注目の指定レートとなる決済注文を新規注文と同時に発注したい場合に使用する注文方法です。成行注文、指値注文、ストリーミング注文、逆指値注文、トレール注文、時間指定成行注文、時間指定指値注文、時間指定逆指値注文、BID 判定買逆指値注文、ASK 判定売逆指値注文、クイック注文、ワンクリック注文の新規注文と同時に pip 差を指定して発注することができます。注文の執行等の詳細については、18. 注文の種類、上記 (1) トレール注文 (2) 時間指定成行注文、(3) 時間指定指値注文、(4) 時間指定逆指値注文、(5) BID 判定買逆指値注文、(6) ASK 判定売逆指値注文、(12) クイック注文、(13) ①ワンクリック注文をご参照ください。

(12) クイック注文

クイック注文画面の「売注文 (BID レート)」または「買注文 (ASK レート)」をクリックし、確認画面なしでストリーミング注文を発注する注文方法です。許容スリップ、通貨ペア、数量、両建ありなしの別を指定して発注します。確認画面は表示されないため、誤発注にご注意ください。注文の執行等の詳細については、18. 注文の種類 (3) ストリーミング注文をご参照ください。

・ドテン注文

同一の通貨ペアの買い (または売り) のポジションに対する決済注文およびその反対方向となる売り (または買い) の同数量の新規注文をストリーミング注文で発注する注文方法です。許容スリップ、通貨ペア、数量、両建ありなしの別を指定して発

注します。

初期設定では「売ドテン」または「買ドテン」は表示されていないため、「売ドテン」または「買ドテン」を利用する場合、「ドテンボタンを表示する」に変更する必要があります。また、初期設定ではドテン注文時の確認画面が表示される設定となっております。確認画面を表示させず、「売ドテン」または「買ドテン」を利用する場合、確認画面を表示させない設定に変更する必要があります。確認画面を表示させない場合、「売ドテン」または「買ドテン」をクリックした時点で発注となりますので、誤発注にご注意ください。なお、決済注文約定後、新規注文が発注される仕様となりますので、相場環境等によっては、決済約定レートと新規約定レートが同一の価格とならない場合、決済注文のみが約定し、新規注文が約定せず、ドテン注文とならない場合があります。また、クイック注文におけるドテン注文は、ストリーミング注文が発注されますが、(13) ワンクリック注文③ドテン注文は、成行注文が発注されます。どちらもドテン注文ではありますが、発注される注文の種類が異なりますのでご注意ください。注文の執行等の詳細については、18. 注文の種類 (1) 成行注文、(3) ストリーミング注文をご参照ください。

- 通貨別全決済注文

通貨ペアを選び、「通貨別全決済注文」をクリックして、同一の通貨ペアの全ポジションに対する決済の成行注文を発注する注文方法です。初期設定では、発注前の確認画面は表示される設定となっております。確認画面を表示させて、「通貨別全決済」を利用する場合、設定の変更は不要です。確認画面を表示させず、「通貨別全決済」を利用する場合、確認画面を表示させない設定に変更する必要があります。確認画面を表示させない場合、「通貨別全決済」をクリックした時点で発注となりますので、誤発注にご注意ください。なお、流動性等により、全部または一部のポジションが約定しないこともあります。注文の執行等の詳細については、18. 注文の種類 (1) 成行注文をご参照ください。

- 売全決済注文／買全決済注文

「売全決済」または「買全決済」をクリックして、売りまたは買いの全ポジションに対する決済の成行注文またはストリーミング注文を発注する注文方法です。初期設定では、成行注文となっており、発注前の確認画面は表示される設定となっております。確認画面を表示させて、「売全決済」または「買全決済」を利用する場合、設定の変更は不要です。確認画面を表示させず、「売全決済」または「買全決済」を利用する場合、確認画面を表示させない設定に変更する必要があります。確認画面を表示させない場合、「売全決済」または「買全決済」をクリックした時点で発注となりますので、誤発注にご注意ください。なお、

流動性等により、全部または一部のポジションが約定しないこともあります。注文の執行等の詳細については、18. 注文の種類 (1) 成行注文、(3) ストリーミング注文をご参照ください。

(13) ワンクリック注文

①ワンクリック注文

あらかじめ数量、両建ありなしの別を設定した上で、レート一覧やレートパネルの **BID** レートまたは **ASK** レートをクリックし、確認画面なしで成行注文を発注する注文方法です。初期設定では、確認画面が表示される通常注文となっておりますので、設定を変更する必要があります。**BID** レートまたは **ASK** レートをクリックした時点で発注となり、確認画面は表示されませんので、誤発注にご注意ください。注文の執行等の詳細については、18. 注文の種類 (1) 成行注文をご参照ください。

②即決済注文

決済したいタイミングで「即決済」をクリックし、決済の成行注文を発注する注文方法です。初期設定では無効（使用しない）となっておりますので、有効（使用する）に変更し、「ワンクリックの開始」をクリックすると、ポジション一覧またはポジション集計に「即決済」が表示され、発注可能となります。ポジション一覧の場合、1 ポジションごとに「即決済」が表示され、ポジション集計の場合、集計された通貨ペアごとに「即決済」が表示されます。なお、ポジション集計の「即決済」の場合、流動性等によっては、全部または一部のポジションが約定しないこともあります。注文の執行等の詳細については、18. 注文の種類 (1) 成行注文をご参照ください。

③ドテン注文

決済したいタイミングで「ドテン」をクリックし、ポジションに対する決済注文およびその反対方向の同数量の新規注文を成行注文で発注します。初期設定では無効（使用しない）となっておりますので、有効（使用する）に変更し、「ワンクリックの開始」をクリックして、ポジション一覧またはポジション集計に「ドテン」が表示され、発注可能となります。なお、決済注文約定後、新規注文が発注される仕様となりますので、相場環境等によっては、決済約定レートと新規約定レートが同一とならない場合、決済注文のみが約定し、新規注文が約定せず、ドテン注文とならない場合があります。なお、ワンクリック注文におけるドテン注文は、成行注文が発注されますが、(12) クイック注文のドテン注文は、ストリーミング注文が発注されます。どちらもドテン注文ではありますが、発注される注文の種類が異なりますので、ご注意ください。注文の執行等の詳細については、18. 注文の種類 (1) 成行注文、(3) ストリーミング注文をご参照ください。

(14) 全決済注文

全決済注文画面から発注する注文方法です。全ポジションに対する決済の成行注文を発注します。初期設定では、発注前の確認画面は表示される設定となっております。確認画面を表示させて、「全決済注文」を利用する場合、設定の変更は不要です。確認画面を表示させず、「全決済注文」を利用する場合、確認画面を表示させない設定に変更する必要があります。確認画面を表示させない場合、全決済注文画面の「注文」をクリックした時点で発注となりますので、誤発注にご注意ください。なお、流動性等によっては、全部または一部のポジションが約定しないこともあります。注文の執行等の詳細については、18. 注文の種類 (1) 成行注文をご参照ください。

(15) 一括決済注文

一括決済注文画面から発注する注文方法です。ポジション一覧の同一通貨ペアかつ同一方向のポジションのうち、決済したいポジションを選び、「一括決済注文」をクリックします。表示されたポジションのうち、決済したいポジションを確認して、決済したい数量を入力し、成行注文、指値注文、ストリーミング注文、逆指値注文、トレール注文、時間指定成行注文、時間指定指値注文、時間指定逆指値注文、**BID** 判定買逆指値注文、**ASK** 判定売逆指値注文、トリガー注文、**OCO** (オーシーオー) 注文から選び発注します。初期設定では、発注前の確認画面は表示される設定となっております。確認画面を表示させて、「一括決済注文」を利用する場合、設定の変更は不要です。確認画面を表示させず、「一括決済注文」を利用する場合、確認画面を表示させない設定に変更する必要があります。確認画面を表示させない場合、一括決済注文画面の「注文」をクリックした時点で発注となりますので、誤発注にご注意ください。また、一括決済注文を行うと、対象ポジションに対する発注中の決済注文はすべて取り消されますのでご注意ください。なお、流動性等によっては、全部または一部のポジションが約定しないこともあります。注文の執行等の詳細については、18. 注文の種類、上記 (1) ~ (7)、(9) をご参照ください。

(16) 一括売決済注文および一括買決済注文

一括決済注文画面から発注する注文方法です。ポジション集計の決済したい通貨ペアを選び、一括売決済注文または一括買決済注文をクリックします。表示された同一通貨ペアの全売ポジションまたは全買ポジションのうち、決済したいポジションを確認して、決済したい数量を入力し、成行注文、指値注文、ストリーミング注文、逆指値注文、トレール注文、時間指定成行注文、時間指定指値注文、時間指定逆指値注文、**BID** 判定買逆指値注文、**ASK** 判定売逆指値注文、トリガー注文、**OCO** (オーシーオー) 注文から選び発注します。初期設定では、発注前の確認画面は表示され

る設定となっております。確認画面を表示させて、「一括売決済注文」または「一括買決済注文」を利用する場合、設定の変更は不要です。確認画面を表示させず、「一括売決済注文」または「一括買決済注文」を利用する場合、確認画面を表示させない設定に変更する必要があります。確認画面を表示させない場合、一括決済注文画面の「注文」をクリックした時点で発注となりますので、誤発注にご注意ください。また、一括決済注文を行うと、対象ポジションに対する発注中の決済注文はすべて取消しされますのでご注意ください。なお、流動性等によっては、全部または一部のポジションが約定しないこともあります。注文の執行等の詳細については、18. 注文の種類および上記 (1) ~ (7)、(9) をご参照ください。

(17) 一括注文

複数の通貨ペアの新規注文を同時に成行注文で発注する注文方法です。ひとつの注文ごとに通貨ペア、数量、売買の別、両建ありなしの別を指定して発注します。初期設定では一括注文時の確認画面が表示されるようになっております。確認画面を表示させて、「一括注文」を利用する場合、設定は不要です。確認画面を表示させず、「一括注文」を利用する場合、確認画面を表示させない設定に変更する必要があります。確認画面を表示させない場合、「注文」をクリックした時点で発注となりますので、誤発注にご注意ください。なお、相場環境等によっては、全部または一部の新規注文が約定しないこともあります。注文の執行等の詳細については、18. 注文の種類 (1) 成行注文をご参照ください。

(18) 条件指定全決済

条件指定全決済には、金額指定全決済と時間指定全決済の2種類があります。指定した金額または指定した時間にポジションの全部を決済したい場合に使用する注文方法です。初期設定は、無効となっておりますので、金額指定全決済または時間指定全決済、もしくは両方を有効にする必要があります。

①金額指定全決済

取引口座全体の評価損益または有効証拠金のどちらかを全決済判定基準として選び、上限金額または下限金額もしくは両方を指定して発注します。金額指定全決済の執行時において、発注済みの新規注文の取り消しを指定しておくこともできます。評価損益または有効証拠金が、指定した金額に達した時点で、決済の成行注文が執行されるため、決済後の金額が指定した金額にはならないこともあります。なお、流動性等によっては、全部または一部のポジションが約定しないこともあります。注文の執行等の詳細については、18. (1) 成行注文をご参照ください。また、金額指定全決済の設定が解除される条件は、以下のとおりですが、手動で全決済された場合、条件指定全決済の設

	<p>定は解除されません。</p> <p>ア、金額指定全決済が執行した場合</p> <p>イ、ロスカットが執行した場合</p> <p>ウ、金額指定全決済と時間指定全決済を設定している状態で、時間指定全決済が執行した場合</p> <p>エ、全決済判定基準として有効証拠金を選んでいる状態で、入金または出金が成立した場合</p> <p>②時間指定全決済</p> <p>時間を指定して発注します。時間指定全決済の執行時において、発注済みの新規注文の取り消しを指定しておくこともできません。指定した時間に達した時点で、決済の成行注文が執行されます。なお、流動性等によっては、全部または一部のポジションが約定しないこともあります。注文の執行等の詳細については、18. (1) 成行注文をご参照ください。また、時間指定全決済の設定が解除される条件は、以下のとおりです。</p> <p>ア、時間指定全決済が執行した場合</p> <p>イ、ロスカットが執行した場合</p> <p>ウ、時間指定全決済と金額指定全決済を設定している状態で、金額指定全決済が執行した場合</p>
<p>新設</p>	<p>20. 指値・逆指値指定不可の範囲</p> <p>レート、レート差、pip差、トレール幅を指定するにあたっては、別表1をご確認ください。レートを指定する場合、売りの指値注文および買いの逆指値注文の場合、提示レートから「指値・逆指値指定不可の範囲」の数値以上離れた高いレートを指定してください。買いの指値注文および売りの逆指値注文の場合、提示レートから「指値・逆指値指定不可の範囲」の数値以上離れた低いレートを指定してください。レート差、pip差、トレール幅を指定する場合、「指値・逆指値指定不可の範囲」の数値以上の値を指定してください。なお、1pip=通貨ペアの最小変動単位となります。</p>
<p>新設</p>	<p>21. 注文の失効</p> <p>注文中および待機中の注文（レートを指定する注文や執行日時を指定する注文等）が失効する条件は、24. 注文期限の到来した場合およびロスカットが執行された場合となります。また、ポジションに対する注文中の決済注文は、当該保有ポジションが別の注文またはロスカットにより、決済となった場合、失効します。</p>
<p>20. ポジションロック機能</p> <p>21. 決済順序</p>	<p>以下、繰り下げ</p> <p>2022. ポジションロック機能</p> <p>2123. 決済順序</p>
<p>22. 注文の優先度</p> <p>前項に定める注文の種類のうち、最も優先される注文は、成行注文となります。ただし、逆指値注文も注文の執行時においては成行注文であるため、成行注文と同様に優先される注文となります。</p>	<p>削除</p>
<p>23. 注文期限</p> <p>24. 注文の取消・変更</p>	<p>以下、繰り下げ</p> <p>2324. 注文期限</p>

	2425 . 注文の取り消し・変更
<p>25. 両建</p> <p>両建とは、売りポジション（買いポジション）を保有している状態で、同じ通貨ペアの買いポジション（売りポジション）を保有することをいいます。両建のデメリットとして、各ポジションに発生するスワップの差によるコスト、売りレートと買いレートの差（スプレッド）によるコスト等があります。当社では、お客様が負担されるコストをリスクであると考え、両建を推奨いたしておりません。ただし、「LION FX」では、お客様ご自身の判断において設定を変更することで、両建を選択することもできる仕様としております。したがって、両建なしの設定または初期設定のままで未決済ポジションの反対売買をされた場合、新規注文のつもりであっても、未決済ポジションの決済が優先され、21. 決済順序を設定していない場合、約定日時の古い順（FIFO）に決済され、21. 決済順序を設定している場合、設定した順序で決済されます。</p>	<p>2526. 両建</p> <p>両建とは、売りポジション（買いポジション）を保有している状態で、同じ通貨ペアの買いポジション（売りポジション）を保有することをいいます。両建のデメリットとして、各ポジションに発生するスワップの差によるコスト、売りレートと買いレートの差（スプレッド）によるコスト等があります。当社では、お客様が負担されるコストをリスクであると考え、両建を推奨いたしておりません。ただし、「LION FX」では、お客様ご自身の判断において設定を変更することで、両建を選択することもできる仕様としております。したがって、両建なしの設定または初期設定のままで未決済ポジションの反対売買をされた場合、新規注文のつもりであっても、未決済ポジションの決済が優先され、23. 決済順序を設定していない場合、約定日時の古い順（FIFO）に決済され、23. 決済順序を設定している場合、設定した順序で決済されます。</p>
26. 取引手数料～43. 取引説明書	<p>以下、繰り下げ</p> <p>2627. 取引手数料～4344. 取引説明書</p>
平成 29 年 11 月 20 日現在	平成 30 年 2 月 26 日現在